

## おとがき

本研究は、平成7年度の「鋼橋技術研究会－施工部会」の研究テーマとしてとりあげたもので、平成7年にワーキンググループを結成し、同9月より予備的な実験と、数値解析による研究を開始した。本格的な実験研究は、平成7年の予備的な試験解析結果を踏まえ、平成8年3月から試験体等の製作を行い、本格的試験を5月より7月までの間実施した。またこれらの試験研究結果を踏まえ、さらに滑り耐力の改善をはかる目的の試験研究を、平成9年1月から5月にかけて実施した。本研究に際し、ワーキンググループのほか、施工部会員にも有益な助言を多く頂いた。これらの成果については、土木学会第51回年次講演会、ならびに平成10年4月の構造工学論文集に投稿発表した。

最後に本研究を遂行するにあたり、足利工業大学の構造系学生の各位には数値解析や、実験の協力を頂いたほか、実験に終始協力頂いた三井造船(株)千葉の桜沢一朝、堀 渡氏、ならびに今回の研究に際して日本橋梁建設協会より研究費の補助金を頂いたことを、ここに記して関係各位に感謝します。

### 参考文献

- 1) 日本道路協会：道路橋示方書・同解説編、平成6年2月、平成8年12月
- 2) 日本鉄道施設協会：土木工事標準示方書
- 3) 日本建築学会：高力ボルト接合設計施工指針、1972
- 4) Geoffrey L.Kulak, Jon W.Fisher, John H.A.Struik : Guide to design Criteria for Bolted and Riveted Joint
- 5) 鋼材倶楽部・日本鋼構造協会：鋼構造接合資料集成、昭和52年
- 6) 技報堂：鋼構造の研究、昭和52年
- 7) 日本建築学会：鋼構造接合部の力学性状に関する研究の現状
- 8) 安田誠宏：摩擦接合部に板厚差による間隔を生じる場合の摩擦抵抗への影響について、1973
- 9) 黒田充紀、増田陳紀、皆川勝、西脇威夫：接触面平坦度を考慮したスプリットタイ接合部挙動の解析的検討、土木学会論文集、第416号/I-13、1990
- 10) 建設省：鋼道路橋設計ガイドライン(案)、1995